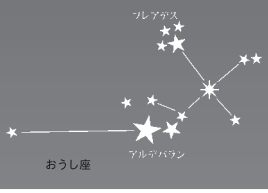

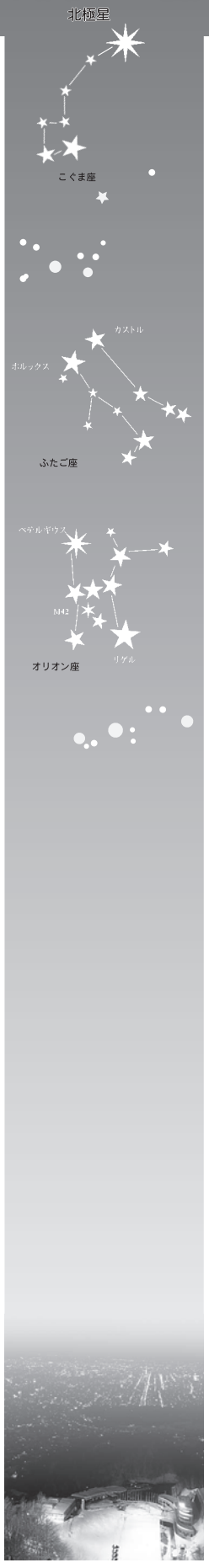

杷憂であればⅡ

三笠市医師会 会長　石黒（いしぐろ）　敏史（としふみ）

「倉廩實ちて則ち礼節を知り　衣食足りて則ち栄辱を知る」。着るものや食べ物が十分にあって初めて人は、礼儀や節度をわきまえるし、恥や公徳心を持つものだ。という意味らしい。以前のポラリスを仰ぐに「杷憂であれば」の題で投稿させていただいた。今回も残念ながら「杷憂であればⅡ」になってしまった。衣食足らずとも自己を律し礼節を保てる人はたくさんいる。しかしながら衣食足りず礼節に目をつぶってしまう人も少なくはない、私もその部類だろう。では反対に衣食足れば宜しいか？といえばそうではない。有り余る富と権力を持っていながら「衣食足りすぎて礼節、栄辱を忘る」自制の効かぬ欲の虜となって、独善的態度で物事に対処する人物が増殖してきた。

さてCO_2上昇による地球温暖化は着実に進んでいる。自然環境の変化に伴い極地だけではなく、世界の経済等をリードしてきた温暖地域の国々にも自然災害が多発している。多くの研究者がいろいろな証拠を上げて、効果的な対策を講じなければさらなる災害が起こるであろう、もう手遅れかも知れないと警鐘を鳴らしている。CO_2排出１位は中国、２位はアメリカ。名目GDP断突１位アメリカ、２位は中国となっている。どちらの国もCO_2排出量にはあまり関心がない様子。世界で一番儲けているはずのアメリカ国民の多くは豊かさの実感に乏しく、ゆとりある暮らしを願っている。なぜ儲け頭のアメリカで豊かさを感じられないのだろうか、前々から指摘されているのだが、一握りの人々に富のほとんどが独占され、富の分配が上手くなされないのが大きな原因なのかもしれない。衣食足りず礼節を忘れる民衆と、衣食足り過ぎ欲の癌細胞に侵され手術は無理、抗がん剤も効なし人間の二極化が進み益々不幸が！！

「なに言ってやがる、人間は知恵あり賢いはず、取越し苦労だよーん」となってくれたらよいが。

雑感2025春

芦別市医師会 会長　橋本（はしもと）　英明（ひであき）

山林火災のニュースが毎日のように報道されている。山梨のご両親が昨年、裏庭で枯れ葉を燃やし、火が広がり大慌てしたことがあった。「たき火」の風習が残っているのだろう。この乾燥期は、地表火が樹冠火となり、火災風は飛び火を生じ消火が難しくなるらしい。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

全く話題が変わるが、「継続することは難しい」が私の信条となり10年となる。備忘録として書き始めた日記が20年目に突入したので、ざっと振り返ってみた。2008禁煙成功、赤平市財政破綻、麻疹大流行、2009新型インフルエンザpdm09型大流行、政権交代、2010少年野球チームの団長就任、2011東日本大震災、2012母（パーキンソン病）、父（辺縁系神経原線維変化型認知症）の介護開始、FB、LINEの開始、自民党復権、2013アベノミクス、2014父他界、老健の嘱託医となる。2015大村智教授ノーベル生理学・医学賞、2016市立病院電子カルテ導入、2017Ｊアラート、2018胆振東部地震、2019タイガーウッズに会う、芦別市医師会長となる。2020 COVID-19パンデミック、東京オリンピック中止、2021松山英樹マスターズ優勝、2022安倍総理暗殺、競技芝球開始、2023富士山登頂、2024能登半島地震、石破内閣発足。回顧して改めて自分は歳を重ねたことを自覚する。IT、医学の進歩には多大な恩恵を受け、SNSの普及により情報の拡散速度が格段にアップしたメリットは計り知れないが、一方で、過度な誹謗中傷が人を容易に傷つける世の中になった。世界の戦禍も絶えない。そんな中、あの品格と笑顔が世界中のファンを虜にして止まない、そう大谷翔平選手の活躍が、活力と安らぎを与えてくれる。今こそ先代の教えを忘れずに、目の前の人の助けになる温かい医療を継続していきたい。トランプ氏が復権した2025年、混迷の世界の幕開けだが、悔いのない一年を過ごしたいものである。